

NEWS LETTER ふたば便り Vol.18

2014年1月4日発行



ふたばの日

浪漫を感じさせる赤い屋根瓦が青空に染まず映える文化のみち二葉館は、2000年に建物名古屋市に寄附されました。建物は解体して保管されたのちに、名古屋市中区榑木町に5年の歳月を経て移築復元され、文化のみち(名古屋城、徳川園、東西約3K区)の拠点施設として2005年2月8日にオープンしてから、2014年の2月で9年目の歴史を刻むこととなりました。お陰さまで今日までに、年代を問わず大変多くの方が来館くださいました。

文化のみち二葉館では、開館日の「2月8日」が施設愛称の「二葉」と語呂が合うことから「ふたばの日」としています。この日は、文化のみち二葉館の年間催事のメインイベントとして、様々な催し物を用意して皆さまをお迎えいたします。

今回は開館9周年と「ふたばの日」を記念し、今までになかった夜間イベント「夜会」を開催します。当日は開館時間を20時まで特別に延長しますので、ステンドグラスからこぼれる美しい光をご覧ください。

楽しみが盛りだくさんの「ふたばの日」に皆さま是非お越しください。

二葉館開館9周年記念イベント ◆ふたばの日 2/8(土)

文化のみち二葉館 10:00~20:00 文化のみち榑木館 10:00~17:00 両館入館料無料

◆夜会vol.1 [Les. 端唄 (hauta)]

江戸時代の流行歌。江戸端唄と上方端唄が代表的であり、芝居の中で歌われることもあるようです。曲・節も技巧的ではなく自然で明快なのが特徴です。端唄を母体として、小唄・哥沢(うたざわ)が生まれ大衆に広く愛されて、現在でも唄い親しまれています。

二葉館九周年にちなみ、おめでたい席で演奏される「初春」をご披露します。

■2月8日(土) 18:00~18:40 ■会場 1階大広間 ■出演 華房真子(左)、華房小真(右)



◆夜会vol.2 [ジャズミンが奏でるシンセ・二胡・琴の調べ]

アジアユニット・ジャズミンによるシンセサイザー・二胡・箏という国際色豊かな楽器のコラボレーション。ジャズミンの香りのように癒される心地よい演奏と現代風民族音楽をお届けします。

■2月8日(土) 19:00~19:40
■会場 1階大広間 ■出演 ジャズミン



◆「額入り姫きもの」制作無料講習会

着物生地柄を最大限に活かした「額入り姫きもの」です。糸・針を使わないので、どなたでも1時間で出来上がります。

■期間:2月12日(水)、13日(木)、14日(金)
■会場:1階集会室
■時間(各日):第一回11:00~12:00 第二回13:30~14:30
■定員:各回10名 ■材料費1,000円
※申し込み方法:文化のみち二葉館に電話で申し込み
※受付日:2月4日(火)10:00~12:00 (但し重複申し込みは不可)
■協力:古裂美術工房

「古裂美術工房」は、日本の伝統文化である[着物]の文化を広めることを目的とし、江戸末期より現代に至る各種着物の収集と、保存・展示を行っています。工房では収集した数多くの貴重な着物のデザイン・縫製技術を研究し「姫きもの」という全く新しい芸術作品として現在に甦らせて、制作発表をしています。また、日本の伝統文化の普及のために海外においても作品展を開催しています。この芸術性の高い作品を、一人でも多くの方に知っていただき、時代を経て受け継がれる着物の素晴らしさをぜひ体感していただきたいと思っております。



◆入館者プレゼント

来館先着100名様に記念品を進呈します。(なくなり次第終了)

榑木館でも先着100名様に甘酒をふるまいます。

◆雛人形展

「川上貞奴が愛した雛人形」

■期間:2月8日(土)~2月15日(土)
■時間:10:00~17:00(最終日は15:00まで)
■会場:1階 展示室1 ■協力:成田山貞照寺

「福よせ雛」

■期間:2月8日(土)~2月15日(土)
■時間:10:00~17:00(最終日は15:00まで)
■会場:2階 和室1&2、展示室8
■協力:(社)日本社会文化教育機構
※2月11日(祝・火)~2月15日(土)は、「福よせ雛」会場にて各日先着50名様にプレゼント進呈。



2014 EVENT SCHEDULE

各イベントのお申し込み・お問い合わせは文化のみち二葉館 TEL/FAX 052-936-3836 ※イベントの予定は変更になる場合があります。

「吉田知子展」

1970年「無明長夜」の芥川賞受賞から、数々の文学賞を受賞している吉田知子氏の幅広い文学活動を展示紹介します。

◆2月11日(祝・火)~3月9日(日)10:00~17:00 (最終日は15:00まで)
◆会場:2階展示室



トークイベント
「吉田知子が描いてきたもの」
吉田知子氏と三田村博史氏による対談

◆3月2日(日)14:00~15:30
◆会場:1階大広間
※観覧は当日自由席(座席に限りがありますのでお早めにお越しください。)

講座「郷土ゆかりの女流文学者たち」

近代文学において、郷土ゆかりの女流文学者たちが刻んできたものをテーマに講座を行います。

◆第1回 「詩人 茨木のり子」
講師:中村誠氏
2月16日(日)14:00~15:00 1階集会室

◆第2回 「歌人 永井陽子」
講師:小塩卓哉氏
2月23日(日)14:00~15:00 2階和室

◆第3回 「詩人 永瀬清子」
講師:斎藤亮氏
3月2日(日)11:00~12:00 1階集会室
※申し込み方法:文化のみち二葉館に電話で申し込み(定員各25名)
受付日:1月22日(水)10:00より 定員になり次第締切



伝統芸能「正調名古屋甚句・端唄」無料体験講習会と日本伝統楽器「三味線」初心者無料体験講習会

◆3月1日(土)13:00~13:45 「正調名古屋甚句・端唄」講習会
14:00~14:45 「三味線」初心者講習会

◆講師:甚 富華氏、華房 小真氏
◆会場:1階集会室 ◆定員:15名
※申し込み方法:文化のみち二葉館に電話申し込み
受付日:2月25日(火)10:00~12:00
※次回は4月を予定

文化のみち情報BOX

東区文化のみちガイドボランティアの会は、平成13年4月18日「養成講座の卒業生」20名で発足の産声を上げ、現在13年目を迎えています。

名古屋市の「文化のみち」は、平成10年に白壁・主税・榑木の町並み保存地区を含む名古屋城から徳川園に至るゾーンが設定されました。

スタート直後は、旧豊田佐助邸に一週間に半日だけ駐在して、来訪される方をガイドすることが殆どでした。勉強を重ねてガイドマニュアルを作成し、話し方も訓練しましたがガイドをする側、される側ともなじみも薄く設立の平成13年度には、わずか500名の方々をご案内することしかできませんでした。

平成17年3月開催の愛知万博にめがけ、前年の11月2日に「徳川園庭園」が、2月8日に「文化のみち二葉館」が相次いでオープンし、当会も必死でガイドの養成に励み、二期生、三期生の養成もでき44名の会員数となり、平成17年度のガイド数は、県内外、老若男女あわせてもって10,000人の大台に乗せることが出来たのです。



因みに平成24年度は、七期生の入会もあって会員も51名になり、ガイド編成にも若干の余裕が出てお客様は、12,100人になりました。

現状の活動について、「文化のみち二葉館」は、オープニングの以前から三人三様の女優「川上貞奴」、企業人「福沢桃介」、演劇人「川上音二郎」について研究を目的に班編成をし、貞奴の鶴沼萬松園や音二郎の出身地福岡市など各地を訪問し「二葉会研究報告書」が上梓され、ガイドの基本書となっています。

二葉館では、火曜日、木曜日、土曜日の11時20分と午後1時20分の2回、なごや観光メーグルバスの到着時間に合わせて各30分を目途に2回りほど館内をご案内し「見るだけとは大違い」と喜んで頂いています。

町並み保存地区では、耐震改修工事が完了した旧豊田佐助邸に拠点を置き火曜日、木曜日、土曜日の午前10時から午後3時30分まで邸内のガイドを実施。お隣の旧春田鉄次郎邸へもお客様と一緒に入り公開部分の邸内ご案内を実施しています。



東区文化のみちガイドボランティアの会

徳川園の庭園では、金曜日の午後1時から3時受付まで黒門口に待機し、ガイドさせて頂いています。

尚、依頼ガイドのお申し込みもお受けしています。町並み保存地区を中心に東区文化のみちを二時間弱、一緒にガイドしながら歩きます。ご予約の1か月前から「文化のみち二葉館」へお問い合わせください。

会長 花井勝支
URL <http://higashibgv.com>

ドニチエコきっぷ・一日乗車券・メーグル1DAYチケットで

入館料割引一般200円→160円

なごや観光メーグルバス
なごやメーグル

NEWS LETTER
ふたば便り Vol.18

発行日 2014年1月4日
発行 文化のみち二葉館
【名古屋旧川上貞奴邸】
指定管理者 アクティオ株式会社

〒461-0014 名古屋市中区榑木町3-23
TEL&FAX 052-936-3836
<http://www.futabakan.jp/>

※この冊子は、古紙/パルプを含む再生紙を使用しています。